家庭数配付

№550　6月号　令和7年5月30日

西東京市立東伏見小学校
校 長　中嶋 太

かけはし

学校ホームページ 更新中！

学校HP

よりよい授業づくりを目指して

研究主任　清水　和哉

本校の教育目標の１つに、「よく考え実行する子ども」があります。この目標は、本校の重点目標であり、この目標達成に向けて、本校の教職員は日々の授業実践・研究に取り組んでいます。

４月当初に校内研究会を行ったとき、東伏見小学校の教員で目指す授業についてディスカッションをしました。よりよい授業づくりを目指していくために大切なことは、「子どもが身を乗り出す授業」を創っていくことだと考えています。「身を乗り出す」とは、「よし、もっとやろう」「これも知りたい」という、主体的な学びにつながっていくことだと思います。学びの連鎖を積み重ねていけば、それが行動（考動）力へと変わっていくと信じています。そのために、３つの手だてが必要だと感じています。

①知的好奇心

単なる興味・関心をもつだけでなく、そこから学習を広げたり深めたりしていきます。また、授業の中で様々な気付きや発見を見つけられるような工夫も行っていきます。

②安心

基礎・基本をできるようにしたり、資料や実物、ICT などの活用を通して子どもの学習を支援したりしていきます。「分かる・できる」ことが増え、安心して学習に取り組めるとき、更なる学習へと連鎖していきます。

③仲間

「三人寄れば文殊の知恵」ということわざがあるように、友達と関わりをもちながら学習することで、お互いに切磋琢磨することができます。自分の中だけでは気付かなかった発見や面白さがそこから生み出されることがあります。

これら３つの手だてはあくまでもほんの一部です。授業を進めるにあたっての手だては、教員によって様々です。本校の教職員は日々、チームで授業研究を行いながらその手だてを模索したり、共有したりしています。これからも、子どもたちに楽しく、分かりやすい授業づくりを目指すとともに、全ての子どもたちに学力が定着するように取り組んでまいります。

【全国社会科教育研究協議会について】

６月 28 日（土）に、本校で全国社会科教育研究協議会を開催いたします。当日は、２・３校時に社会科・生活科の授業を、教育関係者向けに公開いたします。この研究協議会では、研究主題として、「ウェルビーイングを重視した持続可能な社会の創り手となる子どもが育つ社会科学習」を目指して執り行います。ウェルビーイングとは、「身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念 ※1」であるとともに、「多様な個人がそれぞれ幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含む包括的な概念 ※2」と言われています。子どもたちが、地域や社会の持続的な豊かさについて学び、自分のあり方について考えていけるよう、指導していきます。保護者への公開はありませんが、ご支援いただけますと幸いです。よろしくお願いいたします。

※1･2　文部科学省「第４期教育振興基本計画」から引用

☆６月　生活目標　「教室での遊び方を工夫しよう」

梅雨に入ると外遊びができない日が続きます。学級で室内遊びを考えたり、ゆっくりと友達と会話を楽しんだりするなど、落ち着いて休み時間を過ごせるといいです。みんなが安全に楽しく過ごせるように、雨の日の過ごし方について指導していきます。

生活指導部